

平成二十九年一月の作品（一月一三日（金））（第四十七回）

（於 文京シビックセンター 5階D会議室）

風花や首まで浸かり草津の湯 （一江）

孝養を尽くせぬ悔いよ冬の星 （芙紗）

獅子舞に頭噛まれて泣く子かな （清助）

小包に添へて届きし初便り （隆治）

急逝の友より賀状絶句かな （奉男）

あかんべと返す幼や今朝の春 （孝昭）

寒栢の過ぎゆく音のこだまして （前歩）

新年会孫の一言笑ひ取る （貴美）

新春に生まれし君はわが家族 （太郎）

三日月のそばに金星淑気みつ （平六）

真田丸の余韻溢るる年賀状 （正雄）